



▲決めポーズで開催をPRする矢野選手（左）と棚橋社長（右）

39年ぶり登別でプロレス興行を開催  
登別市観光大使矢野通さん表敬

6/17

6月17日、登別市観光大使で新日本プロレス所属の矢野通選手が同社の棚橋弘至社長とともに本市を表敬し、9月14日(土)、総合体育館を会場にプロレスの興行を開催することを市長に報告しました。

この興行は、同社が11年ぶりに行う北海道ツアーの一環で、本市での開催は39年ぶりとなります。

矢野選手は「北海道ツアーでは、観光大使としてぜひ登別で興行をしたい思いが強かった。試合では市民の皆さんへの恩返し気持で戦います。」と開催に向けた意気込みを語られました。

楽しく学ぶリサイクル

7/7

7月7日、クリンクルセンターで『リサイクルまつり24イン登別・白老』を開催しました。

ごみの正しい分別やリサイクル、地球温暖化対策などに対する意識の向上を目的に開催しているこの祭りには、毎年千人以上が来場。当日は途中から雨が降り始めましたが、来場者はフリーマーケットや再生展示品の抽選会、VR体験など、たくさんのイベントを堪能しました。

子どもから大人まで、環境に配慮した催しを体験し、環境保全への理解を深めるきっかけとなる1日になりました。



▲まつり会場（屋外）の様子

おなじみの祭りとは元々の味が融合  
おぼろ酒と登別ブランド米を堪能

7/13-14

7月13日・14日、のぼりべつ夏祭り×登別ブランドまるしえ2024（同実行委員会主催）が、らっぱ公園・アーニス周辺で開催されました。

らっぱ公園前ステージでは、ダンスや太鼓などが祭りを盛り上げ、アーニス散歩者天国では、たこ焼きやかき氷などのおなじみの味や闇魔やきそば、登別ブランド推奨品などを販売したほか、登別青嶺高校生徒考案の『JANJAN HELL麺』や登別明日中等教育学校生徒考案の『かなぼう餃子』が販売されるなど、来場者は見ても楽しい、食べておいしい祭りを満喫しました。



▲お目当てのグルメを求め歩行者天国を歩く来場者



▲講師から操作の手ほどきを受ける参加者

操作の不安を解消し暮らしを便利に  
スマホ教室

7/11

7月11日、市はスマートフォンの操作に不安がある方を対象としたスマホ教室を市民会館で開催しました。

これは、行政手続きのデジタル化が進む中、より平等にデジタルの恩恵を受けられるよう、スマートフォンの基礎知識を学んでもらうもので、当日は、29人の参加者が文字の入力やカメラ・地図アプリ・SNS（LINE）の使い方などを学びました。

教室は、11月まで毎月、市内各所で開催します。なお、11月8日(金)又プルの教室は定員に余裕がありますので、興味のある方はDX推進グループ（☎5109）まで。